

## 2019年度 第2回理事会 議事録

日 時 2019年9月7日(土)13時30分～14時20分  
場 所 北海道立総合体育センター 研修室  
出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、家近昭彦  
沓沢幸一、丸山道博、浅野泰弘、櫻庭功一  
春間好実、藤原 正、田中 淳、川埜保幸  
鎌田勝広、西谷清之、高橋克徳、関原栄司  
志手典之、奈良孝伸、宮原 勉、中森照夫(代理)  
永谷 稔 大西能正、川村俊明

### 1. 開 会

※総務副委員長が、理事34名中23名の出席があり理事会は成立することを報告した。

### 2. 会長あいさつ

2019年度第2回理事会にお集まりいただきお礼。2019年度の事業も年度前半の行事が順調に進められており、これもひとえに皆様のご協力の賜物であり、この場を借りて深く感謝を申し上げます。

今年は9月22日からの2019ワールドカップ女子札幌大会のAサイトが開催されるビッグイベントが控えており、私も皆さんと共に取り組み、大会の成功に向けご協力をよろしく願います。

また、バレーボールワールドカップの初日が、ラグビーワールドカップの2日目と重なる事から、交通機関の混雑が想定されるので、万全の態勢で取り組まれますことを願います。

さて、今日の理事会では、財政検討会議報告などの案件を審議いただくのでよろしくお願いする。

### 3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、北見協会奈良理事、浅野常任理事の2名を指名する。

### 4. 協議事項

#### (1) 財政検討について

○1/26, 8/31に財政検討会議を開催し、今後新たな財政負担を生じさせないことを考慮し、下記2項目について検討(案)を今理事会に提示する。

1. 賦課金・助成金の見直しについて

2. 役員登録料について

○上記2項目の説明と今理事会で提起し、今後は関係加盟団体と協議を進め意見調整をした上で、12月開催の第3回理事会での集約決定を予定している。

<質疑・意見等>

○苫小牧西谷理事 賦課金・助成金を見直しにあたり地区で負担する分は従来通りで良いのか。

⇒各地区協会で検討していただく。

○苫小牧西谷理事 基本金についてはどのようなになるのか。

⇒地区協会は従来通り、社会人4団体は当面一律1万円を支払う。

○千歳関原理事 MRS登録について、登録した場合どのようなメリットがあるのか。システムが煩雑になったうえ、カードを持つセールスポイントが無ければなかなか勧められない。

⇒現状ではメリットは無く、無いことが問題となっており、昨年見直しをおこなったが、オリンピック終了後から2021年に向けて新しい仕組みの検討始める。

実際に影響が強い社会人4団体と個別に協議を行い調整したうえで進めていく。

## 5. 報告事項

### (1) 2019 ワールドカップ女子札幌大会について

○今回平日を含めた大会で3日間すべて完売したのは初めてであり、観客対応等本日11時からの実行委員会で最終の詰めを行ったところである。情報としてはジャニーズウエストの数名が札幌入りするが、イベント等は実施しない。22日に嶋岡会長が札幌入りする。22日のラグビーとのバッティング対応に重点を置き、地下鉄東札幌駅までの案内とシャトルバスの運行(大通りバスセンター方面3台、東札幌駅3台)を準備している。

### (2) 日本協会関連

○Vリーグ関係ではV3に札幌のサフィルヴァ北海道が新規参入となり、女子のデンソーエアリビーズが3番目のホームタウンとして札幌市と提携を結ぶことがまとまり、9/10にデンソーと札幌市、サフィルヴァと札幌市のそれぞれのホームタウンパートナー協定の連携調停式が実施される。

○2020年のVリーグファイナルラウンドの2021年3月4月の公募がある。

○加盟団体連携部が今年4月に組織ができ、8月に大会運営事業本部に業務が移動し、47都道府県を回り課題の情報共有するため、各ブロックの理事長会を訪問する。北海道は3月の理事会に嶋岡会長に来ていただくことを検討したい。

### (4) 各委員会関連

#### ①競技委員会

- ・令和3年度からの全道大会開催地について、未定の部分が多いため、ご協力願います。
- ・2020年10/30~11/1に函館で開催を予定しているヴィンテージ大会について、2020年度からMRS登録を必須とする。チーム制限として50才代クラスを64チーム、60才代クラスを32チームとし16コートで実施する。場合に寄り予選会の開催も考えられる。
- ・高校選手権大会について北海きたえーるのサブコート床張り替え工事に伴い今年度は4面で実施する。2020年は6面で実施、2021年はメインコートの張り替えのため、周年記念行事、体育館新設等の冠がある地方に願います事もある。また2023年に北海道インターハイが決定して

いるので協力をお願いする。

②審判委員会

- ・8月に大阪でA級審査会があり、宮澤彰恵さん（釧路協会）、小沢敦さん（根室協会）が9/1付けでA級候補審判員に認定された。
- ・ワールドカップ関係では明井さんが女子Bサイトのレフェリー、村中さん男子のレフェリーに選出された。

③強化委員会

- ・8月に国体チームが少年は高校生選抜、成年が予選会で大学生選抜に決定し10/1からの茨城国体に臨む。8/8～10に選考会を実施しJOCメンバー男女各12名が決定し本日最初の説明会があり、これから12月まで練習を実施し年末の大会に臨む。

④実連

- ・実連、クラブ連、学連が実行委員会で開催する北海道地域リーグは本年度Vを目指すチームが無いことから全国6人制リーグへの参加希望無しの報告をした。北海道地域リーグに参加希望のチームには今年度中に開催するよう調整をおこなう。

(5) その他の報告

○会長より 今年の6月に札幌体育協会の会長になったことで北海道スポーツ協会の副会長になり、先日北海道スポーツ協会の理事会に出席した。スポーツ王国北海道事業費補助事業というスポーツジュニアアスリート育成事業があり、夏の対象競技は五輪種目で競技人口が多く、国体入賞実績により、陸上、サッカー、バスケット、卓球、バトミントン、ライフル、山岳の7競技が選考されており、今後バレーボール競技も選考されるよう国体事業に関心を持ちたい。

補足として皇后杯の得点が低迷していることから、女子競技の強化対象5競技にバレーボール競技が選定されている。

6. その他

7. 閉会


【次回：令和元年12月14日（土）13:30～ 北海きたえーる】

議事録署名人

会 長

金島典明 

議事録署名人

奈良孝伸 

議事録署名人

浅野泰弘 